環境経営学会

2025年度 春季研究報告大会 Digest

2025年5月24日(土)
会場：武蔵野大学 有明キャンパス

プログラム

大会テーマ 日本企業のサステナビリティ経営にもの申す	
第一部　一般公開プログラム	
13:00	開会挨拶 大会実行委員長 白鳥 和彦
13:05～ 14:00	基調講演 「そもそもサステナビリティ経営とは何か？」 環境経営学会 特別顧問 後藤 敏彦
14:00～ 15:00	公開シンポジウム 「日本企業のサステナビリティ経営に対する危機感」
15:00～ 15:30	環境経営学会賞 受賞者講演 矢口 義教 、 中尾 悠利子
第二部　個別研究発表会	
15:40～ 17:50	3会場　12名の発表
閉会の挨拶 環境経営学会行事委員会委員長 長谷川 浩司	
18:00～19:30 交流会	

大会実行委員長挨拶

この学会に入りまして20年以上経ち、企業の環境経営の取り組みと価値向上の関係性の答えを探しているなかで、地球環境問題に留まらず、サステナビリティということに広がり、さらに問いは広く深くなっています。
そのような想いのなか、第1部では、企業がサステナビリティにどう取り組むべきかということを改めて考えるといったテーマであり、個別研究発表テーマは12テーマと大変盛りだくさんで、興味深いテーマが並んでます。
この大会が、皆さまのこれからの研究や交流を深め、そして学生の皆さんにとっては、それぞれの学習を深めるきっかけとなる場になればと願います。

大会実行委員長　白鳥和彦

基調講演

「そもそもサステナビリティ経営とは何か？」

後藤 敏彦
環境経営学会 特別顧問

公開シンポジウム

「日本企業のサステナビリティ経営に対する危機感」
～サステナビリティ経営は開示ではない：開示大国日本にもの申す～

★危機感１（理事 片山 郁夫）サステナビリティ課題が経営者視点で捉えられていない！
★危機感２（理事 宮崎 智子）生物多様性・TNFDの取り組みが形式的で中身が無い！
★危機感３（理事 長谷川 浩司）TCFD開示作業ありきでなく、経営者の経営改革を！

ファシリテーター：理事 木村 則昭
総括（環境経営学会新会長）

環境経営学会賞 受賞者講演

矢口 義教（東北学院大学）
「地域を支え，地域を守る責任経営―CSR・SDGs時代の中小企業経営と事業承継―」

中尾 悠利子（関西大学）
「AIによるESG評価―モデル構築と情報開示分析―」

個別研究発表者　感想コメント

菊池 武晴（東京都市大学）

私は「福井県企業通勤時の公共交通利用の現状と今後の改善に向けて」と題し発表しました。質疑では、研究成果をどのように現場へ伝えるのか等へやりとりが及び、今後の励みとなりました。当学会は実務的な課題を研究テーマにする方が多く、そのような方と意見交換ができたことを有難く感じました。

早川 美由紀（株式会社真経営）

個別研究発表という人生初の機会をいただき、準備段階から研究のブラッシュアップにつながりました。
他の発表者の方々の問題意識や独自のアプローチに触れ、また、自分の研究への質疑応答やフィードバックを通じて新たな視点を得られたことが収穫です。誠にありがとうございました。

村瀬 次彦（法政大学大学院）

指導教授の長谷川直哉先生のご紹介と副会長の長谷川浩司先生のご推薦を受けて入会いたしました。初参加となった研究報告会では、産学の立場、社会人・学生の世代を超えた対話が印象的でした。企業実務と研究の架け橋として、サステナビリティ経営に向けた共創の重要性を再認識しました。理論と実践をつなぐ一助となれるよう努めてまいります。

LIU XIN（武蔵野大学）

今回、環境経営学会で発表させていただき、とても良い経験になりました。自分の研究への理解が深まり、当日の質疑や他の方の発表から多くの学びを得ることができました。学生の方々や先生方と交流することで、新しい視点や自分の不足を得ることができ、この機会を大切に、これからも学びを深めていきたいと思います。

野村ゼミ一同（創価大学）

環境経営学会では、ゼミで取り組んできたプロジェクトについて発表させていただきました。発表後のフロアからの質問でプロジェクトをブラッシュアップする事ができました。また、他の参加者の方々の発表から学ぶことも多くありました。
今回の貴重な経験を今後の研究活動にも活かしていきたいです。

新会長挨拶

本日、会長を拝命いたしました。今回の学会は、会場とオンラインを合わせ150名を超える参加を得て、大変活気ある場となりました。後藤元会長による基調講演に加え、研究者・実務家のみならず学部学生の発表もあり、研究者と実務家がコラボするハイブリッドな本学会の特色が改めて示されたと思います。
今後は会員一人ひとりが主体性を持ち、研究や実践を広く内外に発信していただければ幸いです。

環境経営学会 会長 村井 秀樹

行事委員長挨拶

皆様のお陰で大変盛大な大会になりまして、お礼申し上げます。今大会の特徴は、何と言っても、個人研究発表がとても充実していたことです。
そもそも学会になぜ人が集まるのか？それは、相互の研究成果を発表し、意見を交換し高め合う場だからです。したがって、学会の価値は、研究発表の充実にあります。すなわち、個人研究発表は、学会にとってのコメなのです。
ぜひ、来年に向けて、一人一人が研究の種を撒き、組織の中で田植えをし、そして、大会の場で実りを披露して頂くことを願っております※※※※※

行事委員長（学会のコメ担当）　長谷川浩司

入会のご案内

こちらにアクセスしてお申込ください。

秋季研究報告大会のご案内

日程：2025年11月15日(土)
オンラインで開催予定。(詳細は別途HPで告知予定)